

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

沖縄伝統空手・古武道

国際人材リソースデータベース

平成11年3月

財団法人 データベース振興センター

委 託 先 株式会社アイエムアイコーポレーション

KEIRIN

00

この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものである。



序

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体などに対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々に構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会（委員長 東海大学教授 上條史彦氏）を設置している。

この「沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース」は、平成10年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として実施した課題の一つで、当財団が(株)アイエムアイコーポレーションに対して委託実施したものである。この成果が、データベースに興味をお持ちの方々や諸分野の皆様方のお役に立てば幸いである。

なお、平成10年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した課題は次表のとおりである。

平成11年3月



平成10年度 データベース構築・技術開発促進事業委託課題一覧

分野	課題名	委託先
社会	1 生命保険商品情報データベースプロトタイプ構築	(株) 平和情報センター
	2 ビジネス法定文書のサンプルフォームデータベースの構築	ジャスネットコミュニケーションズ(株)
	3 グループウェアによるISO 9001品質文書管理データベースツールの構築	日本電子開発(株)
地域活性化	4 地域対応型の農業技術情報データベース構築	アシストマイクロ(株)
技術	5 登録ジオコードに基づく世界データベースシステムの開発	アジア航測(株)
	6 複数の認証局間における認証データベースの有効利用に関する調査研究	(株) イフ・アドバタイジング
地域振興	7 十勝毎日新聞記事データベース構築	(株) ケーシーズ
	8 付加価値データベースシステム構築に関する調査研究	(株) インタークラフト
	9 新規産業創出のための業種を融合した企業情報のデータベースの構築	(財) 相模原市産業振興財団
	10 地域ホームページに係わるリンク集整備および自動巡回システムと全文検索エンジンを利用した効果的検索機能の開発	ミネルバ(株)
	11 古墳・遺跡の指標となる土器データ検索パイロットシステムの作成	凸版印刷(株)
	12 出雲古代遺跡デジタルデータベース構築	(株) 出雲王国
	13 インターネットを利用した四国地域の研究者データベースの構築	(財) 四国産業・技術振興センター
	14 長崎県観光写真素材データベースの構築	長崎メディアミックス協同組合
	15 沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース	(株) アイエムアイコーポレーション



目 次

15. 沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

1	概要	1
2	実施内容	1
2.1	実施体制	8
2.2	工 程	9
2.3	実施計画策定	1 1
2.4	事前調査	1 1
2.5	参考資料	1 2
2.6	調査公開内容の策定	1 3
2.7	調査用インターネット環境整備	1 4
2.8	DMによる登録票の送付	2 7
2.9	データベーステンプレート作成	4 0
2.10	データ入力	4 1
2.11	インターネットサーバ構築・ ・データベース連動システム構築	4 4
2.12	試験運用	4 6
2.13	公開開始	4 7
3	広報活動	4 9
3.1	記者発表	4 9
3.2	県外広報活動	5 1



15. 沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

1 概要

沖縄を起源とし世界に広がった空手・古武道の人やそれにもなう活動、施設などのリソースをデータベースとして構築する。

また、世界4千万の空手修練者が利用できる国際的環境としてインターネット上にサーバーを構築、人材・道場・大会などのリソース検索サービスとして提供し、国際的なネットワークを利用した空手道・古武道の普及発展に役立てる。

2 実施内容

空手・古武道の流派、活動拠点（国内外）に対し、調査表に基づく取材を行い資料を収集した。調査表とは、2頁から7頁までの図1、2、3、4、6、7に掲載した登録票及び詳細記入用の用紙のことである。

調査内容は沖縄県空手道連合会の審議を経て決定したが、各流派、道場に登録された人的情報（氏名、生年月日、有段、表彰経歴など）を取材した。

また、道場のロケーションや施設内様などの情報もあわせて取材した。

取材方法は、原則として郵送、その他 E-mail、インターネットホームページ CGI 入力などによる非面談方式とし、対象団体に対して沖縄県空手道連合会から要請文をつけて行った。

集まった情報は、空手マンマスター、道場マスターの2つのデータベースを ACCESS で作成、入力し、基本となるデータベースの情報は、本事業は公開環境として、インターネット連動のサーバーを WindowsNT 上に Web を構築し、ODBC、CGI による「オープンデータベース」で運用される。

情報活用できる公開情報については、沖縄県空手道連合会での審議によるものとした。



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース
登録について

「沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース」につきましては、下記の各条項をご理解のうえ、登録して下さるようお願いいたします。

＜目的＞

(1) このデータベースの構築の目的は次の通りです。

①道場数、生徒数等、世界の空手界の現状の統計をとり、さらなる発展の基礎データとします。

②沖縄から世界また世界から沖縄への通信網を確立します。

＜監修＞

(2) 登録と公開の判断は、「沖縄県空手道連合会」内に設置されております「公開基準策定委員会」が行います。

＜公開＞

(3) 登録票の項目には、公開項目と非公開項目があり、公開項目はインターネット等のマスメディア通じて公開されます。

(4) 未成年者に関しては基本的には公開いたしません。

なお、本人の希望と保護者の承認があれば公開いたします。

＜使用権と著作権＞

(5) 名簿、写真、文章、図画等、公開内容から派生する諸権利は全て連合会に所属し、無断での使用が禁止されております。

(6) 上記の写真、文章、図画等の使用を希望される方は、連合会事務所までご連絡ください。

＜連合会への加盟＞

(7) 連合会への加盟をご希望の方は、連合会事務局までご連絡ください。

図1 登録の際の案内文



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (流派・会派用)

<会派・流派情報>

よみがな		よみがな	
流・会派		代表者名	
よみがな		生年月日：	性別：
段・資格		職業：	
よみがな			
住 所			
電話		E-mail	
FAX		WWW	

<本部所在地の略図>

<メッセージ欄>世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 2 登録票 (流派・会派用)



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (道場主用)

＜道場主情報＞

よみがな		よみがな	
道場名		流・会派	
よみがな		よみがな	
代表者名		段・資格	
よみがな			生年月日： 性別：
住 所			職業
電話		E-mail	
FAX		WWW	

＜本部所在地の略図＞

＜メッセージ欄＞世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 3 登録票 (道場主用)



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (個人用)

<個人情報>

よみがな		よみがな	
氏 名		流・会派	
よみがな		よみがな	
道場名		段・資格	
よみがな			生年月日： 性別：
住 所			職業：
			職業：
電話		E-mail	
FAX		WWW	

<道場の所在地>

<メッセージ欄>世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 4 登録票 (個人用)



<所属道場>

貴流・会派の所属道場リストをご記入下さい。

No	記入要項			
	よみがな 道場名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
	よみがな 代表者名：	住所：	TEL:: FAX:	E-mail: WWW:
	よみがな 道場名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
	よみがな 代表者名：	住所：	TEL:: FAX:	E-mail: WWW:
	よみがな 道場名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
	よみがな 代表者名：	住所： 所属者数：	TEL:: FAX:	E-mail: WWW:
	よみがな 道場名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
	よみがな 代表者名：	住所： 所属者数：	TEL:: FAX:	E-mail: WWW:



<所属門下生>

貴道場の門下生リストをご記入下さい。

No	記入要項			
	よみがな 氏名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
		住所：	TEL::	E-mail:
	よみがな 氏名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
		住所：	TEL::	E-mail:
	よみがな 氏名：	段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
		住所：	TEL::	E-mail:
	よみがな 氏名：	所属者数：	FAX:	WWW:
		段： 資格：	職業：	生年月日： 性別：
	よみがな 氏名：	住所：	TEL::	E-mail:
		所属者数：	FAX:	WWW:



2.1 実施体制

本データベース構築については、沖縄の伝統的特殊性を擁するため、沖縄県空手道連合会の中に空手道データベース構築実行委員会および公開基準策定審査会を設置し、監修および意思決定を行い進めた。

<監修者>

八木明德 沖縄県空手道連合会 元老

<実行委員会>

沖縄県空手道連合会

空手道データベース構築実行委員会

東江 康治	(連合会会長：名桜大学学長)
比嘉 世吉	(連合会理事長：剛柔流国際空手道連盟会長)
比嘉 稔	(連合会副理事長：小林流究道館連合会会長)
仲本 政博	(連合会副理事長：沖縄伝統古武道保存会)
濱川 謙	(連合会専務理事：琉球新報事業局特命事業担当局長)

公開基準策定審査会

濱川 謙	(連合会専務理事：琉球新報事業局特命事業担当局長)
新垣 勇	(連合会副理事長：小林流講道館館長)
島袋 善保	(連合会副理事長：中部小林流聖武館館長)
仲程 力	(連合会副理事長：沖縄空手道協会会長)
蔵下 英喜	(連合会事務局：剛柔流国際空手古武道連盟副理事長)

<作 業>

進 行 管 理	：須藤 将史 (責任者)
システム設計	：津田 厚 (責任者)
データ入力	：池原紀夫 (責任者) / 比嘉理恵子
プログラマ	：池田雅人 (責任者) / 大西健司



2.2 工 程

データベース構築作業の当初の工程予定は、下図7の通りであった。

項 目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実施計画策定	→						
事前調査	↔						
調査公開内容の策定	↔	→					
調査用インターネット環境整備		→					
DMによる調査表の送付		↔	→				
データベーステンプレート作成		↔	→				
データ入力作業			↔	→			
インターネットサーバ構築		↔	→				
データベース連動システム構築		↔	→				
試験運用期間						↔	→
公開開始							→
実行委員会	○	○	○	○	○	○	

図7 工程予定



データベース構築作業の実績作業工程は、下図8の通りである。

項 目	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
実施計画策定	→						
事前調査	↔						
調査公開内容の策定	←→						
調査用インターネット環境整備		→					
DMによる調査表の送付		←→					
データベーステンプレート作成		←→					
データ入力作業			←→			→	
インターネットサーバ構築		←→					
データベース連動システム構築			←→				→
試験運用期間					←→		→
公開開始							→ 3月一部修正
実行委員会	○	○	○	○	○	○	

図 8 実績作業行程



2.3 実施計画策定

実施計画については、平成10年8月7日第1回沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース構築実行委員会において、事業概要、事業内容、成果、事業の特徴（意義・技術・利用目的）について十分に審議し、決定した内容を基に、作業が進められた。

並行して行った事前調査の内容を参考にし作業を進めた結果、予定通り8月下旬に実施計画が完成した。

2.4 事前調査

実施計画を策定するにあたり、沖縄県空手連合会との間で、調査内容について調整を諮った。

調査を行う際に個人のプライバシー等権利を侵害することのないように、連合会の協力を得て、慎重な調査を心がけた。

結果、既存の名簿資料を入手できた。

次に、沖縄伝統空手・古武道についての参考資料（2.5）を中心に調査を行った。

沖縄空手、古武道の歴史、型を極め専守防衛に徹する沖縄伝統空手・古武道の特殊性、流派派および個人の本調査に必要な組織系統や、その歴史について多くの情報を得た。



2.5 参考資料

表1

書 名	著 者	発 行
1. 沖縄空手道概説	高宮城繁、比嘉敏雄 比嘉勝芳	沖縄空手道協会北谷道場
2. 沖縄空手・古武道世界大会へのあゆみ		編集：(株)守礼堂
3. 空手道	大塚博紀ほか	(株)創造
4. 沖縄剛泊会空手道	渡嘉敷唯賢	沖縄剛柔流・泊手空手道協会
5. 空手道教本	渡口政吉	沖縄空手道剛柔流尚礼館本部
6. BLACK BELT KARATE	Jordan Roth	TUTTLE
7. 空手道大観	仲宗根源和ほか	緑林堂書店
8. 沖縄の空手・角力名人伝	長嶺将真	世界松林流空手道興道館
9. 終戦五十周年記念誌 道	「あゆみ」編集委員会	全沖縄空手道連盟
10. 沖縄伝武備志	監修・楊名時 翻訳・大塚忠彦	(株)ベースボール・マガジン社
11. 空手道競技入門	城石尚治	(株)ベースボール・マガジン社
12. 沖縄剛柔流空手道	東恩納盛男	宗文社
13. 空手の心	渡口政吉	角川書店
14. 沖縄伝統古武道	仲本政博	文武館
15. 創立十周年記念誌	沖縄県空手道連盟	宮里栄一
16. 空手道とはなにか	仲里周五郎	SQUARE, Inc
17. 沖縄の空手道	長嶺将真	世界松林流空手道興道館
18. 琉球拳法唐手	富名腰義珍	榕樹社
19. 近代空手道の歴史を語る	儀間真謹、藤原稜三	(株)ベースボール・マガジン社
20. 格闘技の歴史	藤原稜三	(株)ベースボール・マガジン社
21. SECRETS OF UECHI RYU KARATE	ALAN DOLLAR	Cherokee Communications
22. 平成5年版沖縄空手人名鑑		沖縄県空手道連合会



2.6 調査公開内容の策定

調査公開内容については、個人のプライバシーにかかわる情報等も含む場合が多く、公開基準を十分に検討して設定した。

平成10年9月19日の公開基準策定審査会において登録ならびに公開基準について次のように決定した。

(1) マスターデータベースへの登録

- ① マスターデータベースは、登録希望者を審査し、審査基準に達していたならばすべて登録するものであるが、非公開である。
尚、審査基準とは、登録希望者が沖縄の伝統空手を学んでいること、かつその者を沖縄県空手道連合会の審査委員が、習熟したと認めることである。
- ② 登録基準は次の通りである。
 - 1) 調査表の項目を満たしたもの。
 - 2) 調査表の記載に偽りのないもの。
 - 3) 未成年者にあつては保護者の同意を得たもの。
 - 4) 悪意の登録をしないもの。

(2) オープンデータベースで情報公開する基準

- ① マスターデータベースに登録されたもの。
- ② 情報公開を希望するもの。
- ③ 道場の経営者であるもの。
- ④ 流派あるいは会派で指導者と認められたもの。

また、同年10月・11月・12月の公開基準策定審査会において、3回にわたる審議の結果、国内ならびに国外の公開基準細則が定められた。

公開基準細則

- (1) マスターデータベースに関しては、登録票を満たしたものは、すべて登録する。

* 虚無の項目がないことを可能な限り確認する。

- (2) オープンデータベースに関しては、次の規定を満たしたものを登録する。

- ① 沖縄伝統空手道古武道の流・会派に属するものとする。
- ② 登録者が沖縄伝統空手道古武道の流・会派に属するか否かの判断は沖縄県空手道連合会が審査し、判断する。
- ③ 県外ならびに海外にある流派、会派、道場については、沖縄空手道連合会の確認を得た上登録する。



- ④その他、沖縄県空手道連合会が認可したもの。

2.7 調査用インターネット環境整備

インターネットホームページの作成を主眼として取材し、原稿作成した。

ホームページの構成は次の通りである。

- ①ホームページ扉
- ②空手連合会会長あいさつ
- ③登録画面
- ④沖縄空手連合会について
- ⑤沖縄伝統空手・古武道のあゆみ
- ⑥インターネット版空手新聞

構成については、ホームページへのアクセスを高める内容を心がけた。

その一つとして空手新聞の中で、「沖縄伝統空手・古武道世界大会」を告知した。

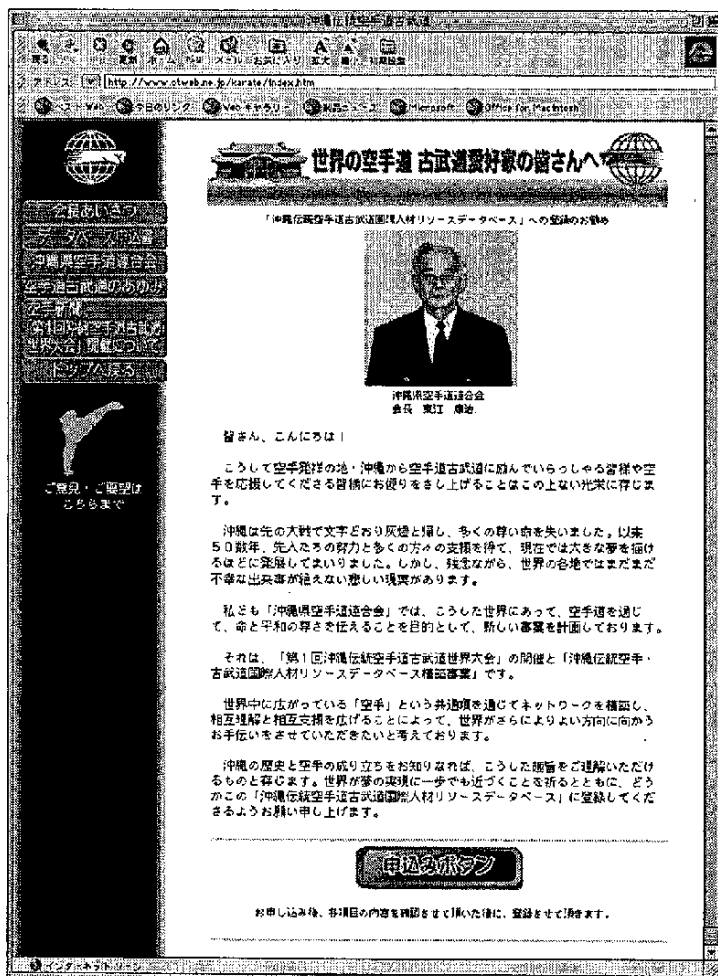




- 二分割フレームを使用。
- 蹴りアニメーション
- ボタン項目はオンマウスにて反転。

図9 ホームページ扉（日本語）





●空手連合会会長挨拶

図 10 会長挨拶（日本語）



画面より入力できます。



世界空手道古武道選手権大会





大会名：第1回ワールドオープン・古武道選手権大会 東京大会

沖縄伝統空手道空道道場個人対戦リソースデータベース

申し込みについて

「沖縄伝統空手道空道道場個人対戦リソースデータベース」につきましては、下記の協会様までご連絡のうえ、申し込みしていただくようお願いいたします。

<目的>

- このデータベースの構築の目的は次の通りです。
 1. 連絡先、生体情報、世界の空手道の現状の統計資料、さまざまな競技の競技データなどを、申し込みについて。
 2. 沖縄から世界まで世界中の沖縄への通信網を確立します。

<監修>

- 申し込みと公開の手続きは、「沖縄空手道連合会」内で設置されております「公開監視認定委員会」が行います。

<公開>

- 申し込み書の項目には、公開項目と非公出版項目があり、公開項目はインターネット側のパスワードでアクセスして公開されます。
- 未公開項目に関しては基本料金は公開いたしません。
なお、本人の希望と監修者の承認があれば公開いたします。

<使用権と著作権>

- 生体、写真、文章、図画等、公開内容から派生する権利は全て協会様に所属し、無断での使用が禁止されています。
- 上記の写真、文章、図画等の使用を希望される方は、協会会費納付までご連絡ください。

<運営会への加盟>

- 運営会への加盟をご希望の方は、別途協会会費納付までご連絡ください。

<登録料>

- 無料です。



大会名：第1回ワールドオープン・古武道選手権大会 東京大会

申し込み書

※各大会まで記入して下さい。数字は別紙に併せて記入下さい。

必要情報

- 登録希望者氏名: _____
よみがな: _____
- 連絡先: _____
よみがな: _____
- 代表者名: _____
よみがな: _____
- 住 居: _____
よみがな: _____
- 夫・参謀: _____
よみがな: _____
- E-mail: _____
- URL: _____
空道のURL、ホームページを記入して下さい。URLアドレスを記入ください。
- 住所: 〒 _____

郵便して下さい

よみがな: _____

個人情報

- 電 話: _____
- ファックス: _____
- 職 業: _____
- 生年月日: _____
- 性 別: ☐ 男性 ☐ 女性
- 国 籍:

選択して下さい
- ページング
(世界の登録へ伝えたいことを同席にお書き下さい。)

※住所内郵便の郵便物、下記のメールアドレスに送付して下さい。

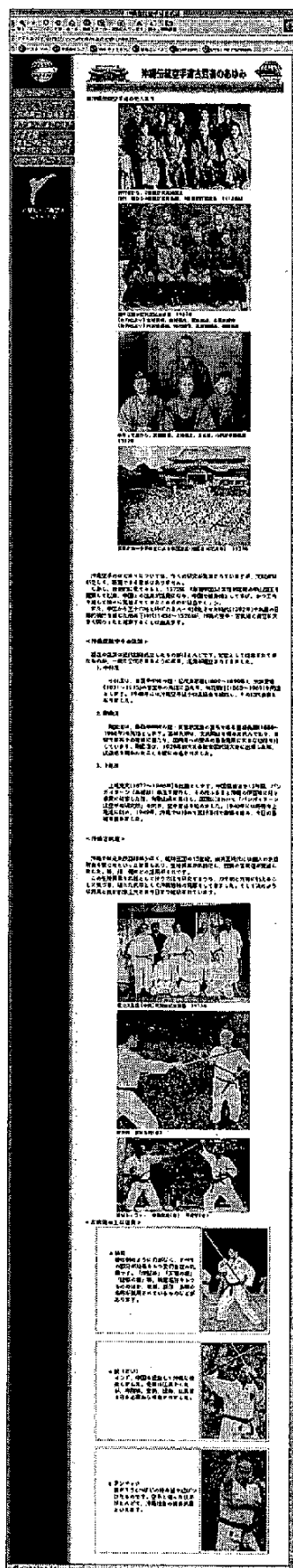
E-mail: e-karate@com.net.jp

送 信

取り消し

図 11 データベース登録画面





- 沖縄空手道古武道の歩み
- 沖縄伝統空手道の先人たち
- 沖縄空手道
- 沖縄伝統空手の流派
- 沖縄古武道
- 古武道の主な道具

図 12 沖縄伝統空手・古武道の歩み





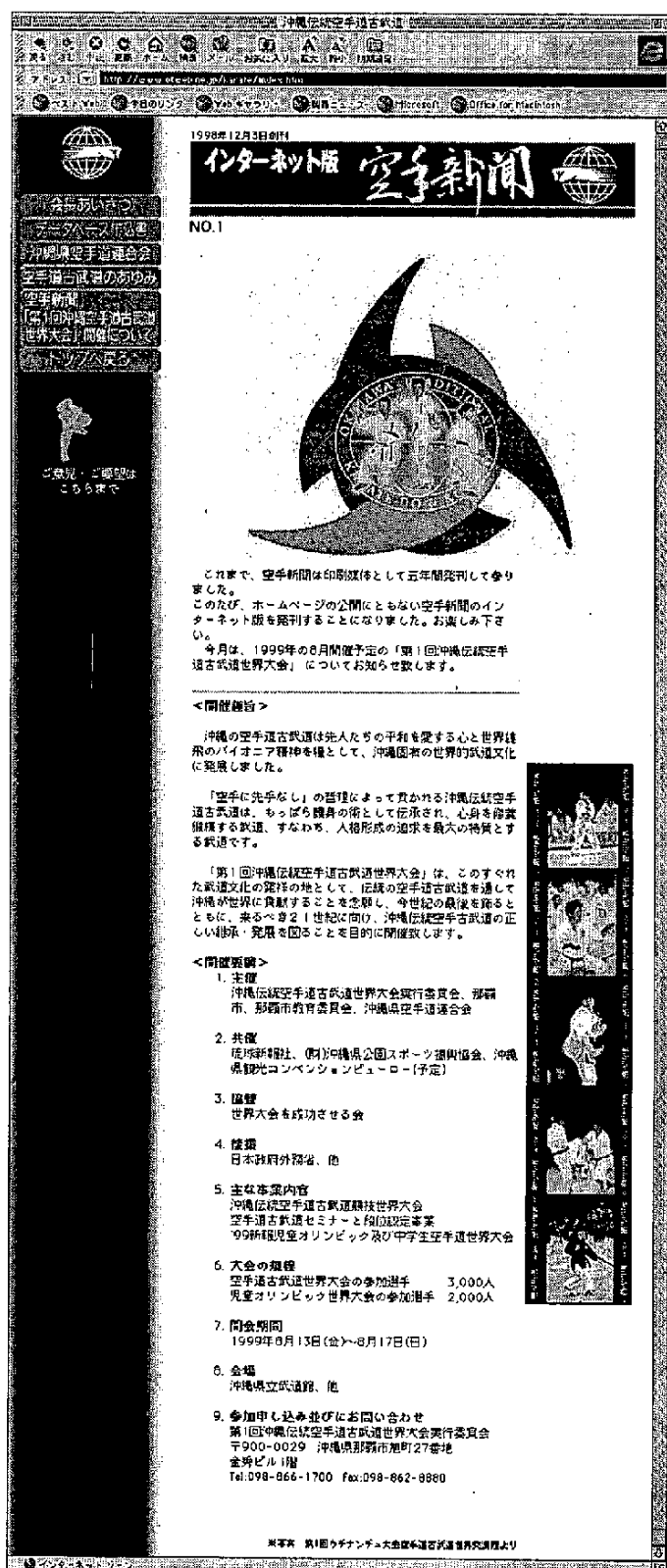


図 14 インターネット空手新聞 (日本語)

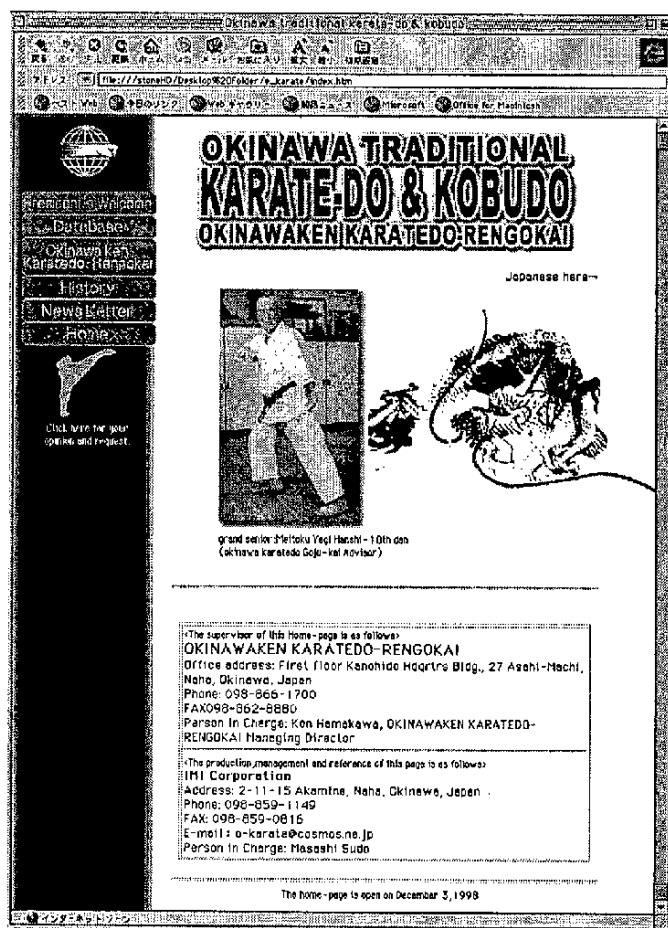
●インターネット版 空手新聞

第一回は

「第1回沖縄伝統空手道古武道世界大会」を紹介。

※2ヶ月毎に更新



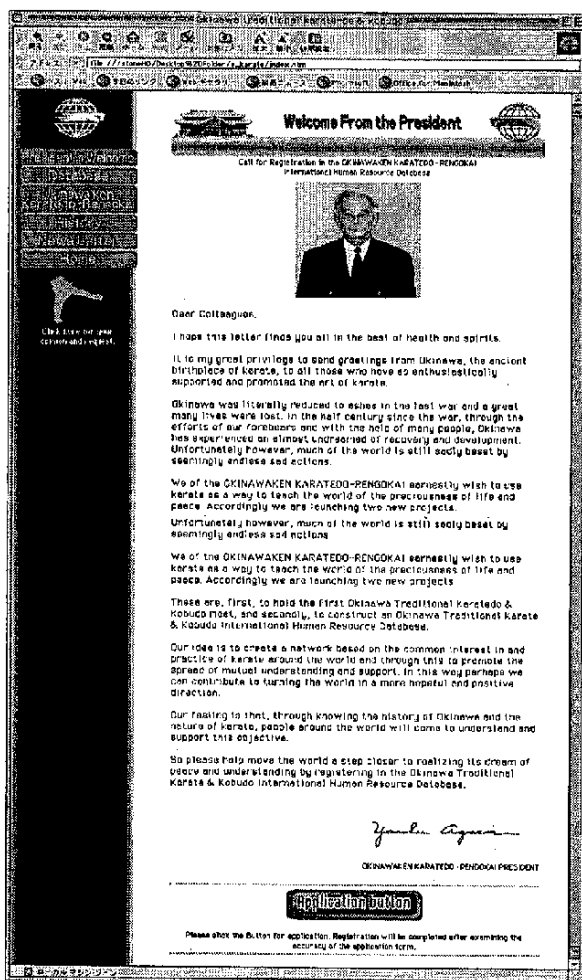


英語版

- 二分割フレームを使用。
- 蹴りアニメーション
- ボタン項目はオンマウスにて反転。

図 15 ホームページ扉（英語版）





英語版

●空手連合会会長挨拶

図 16 会長挨拶（英語版）



Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database

About Application

We solicit your cooperation in registering in the Okinawa Karate-do & Kobudo International Human Resource Database in accordance with the following provisions:

<Objectives>

- The purposes of this database are as follows:
 - To establish data and basic information on the present status of karate around the world, including information on the number of dojos and pupils.
 - To create a network of communication peak and forth between Okinawa and the world.

<Supervision>

- Decisions about dissemination and release of information will be made by the Okinawa Karate-do & Kobudo International Human Resource Database, and we reserve the OKINAWA KARATE-DO-KOBUDO FEDERATION.

<Publication>

- The registration forms contain both public and private items. Public information will be released via the Internet and other media.
- In principle, information on young people will not be made public. However if the person so desires and with permission of parent or guardian, information can be released.

<Right of Use and/or Publication>

- All rights to copy or reproduce letters, photographs, writings, drawings or other public information are reserved by the Federation. Unauthorized use is strictly prohibited.
- Persons wishing to use the above-mentioned photographs, drawings, etc., should contact the Federation's office.

<Joining the Federation>

- Those wishing to join the Federation, should contact the Federation office.

<Registration Fee>

- Free of charge

Your Information

Basic Information

- Name of registrant:
- Dojo Name:
- Representative's Name:
- Dan/Rank:
- Style/Kata:
- E-mail:
- URL:
- Address:
- Telephone:
- Fax:
- Occupations:
- Birthdate:
- Sex: ☐ Male ☐ Female
- Nationality:

Message Space
(Please write your message or greeting to the world.)

©1998 You can give us your dojo's direction, please send us a map as an attachment to:
E-mail: karate@oknaweb.jp

英語版

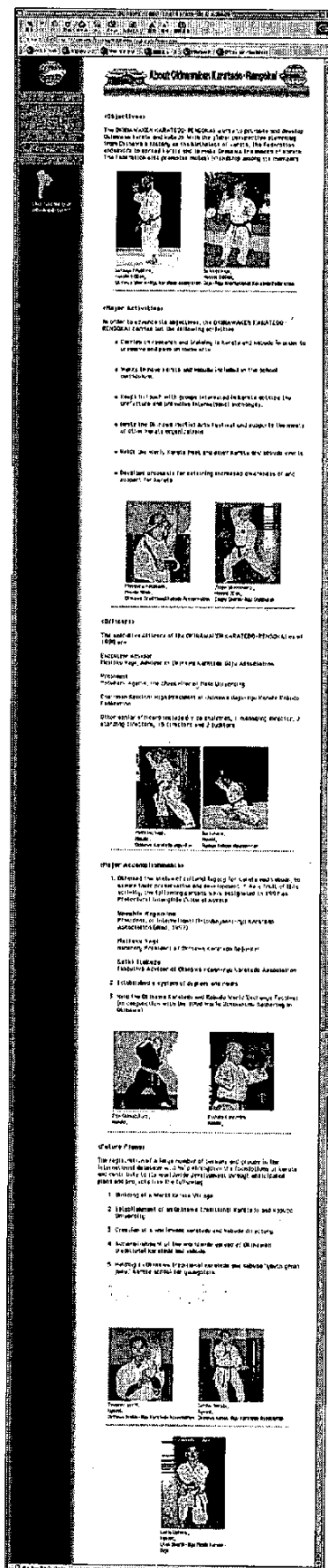
● 世界空手道古武道データベース

画面より入力できます。

※2 月末日に向けて、入力されたデータを公開表示できるように調整中。

図 17 登録画面（英語版）





英語版

● 沖縄空手連合会について

設立の目的

主な事業内容

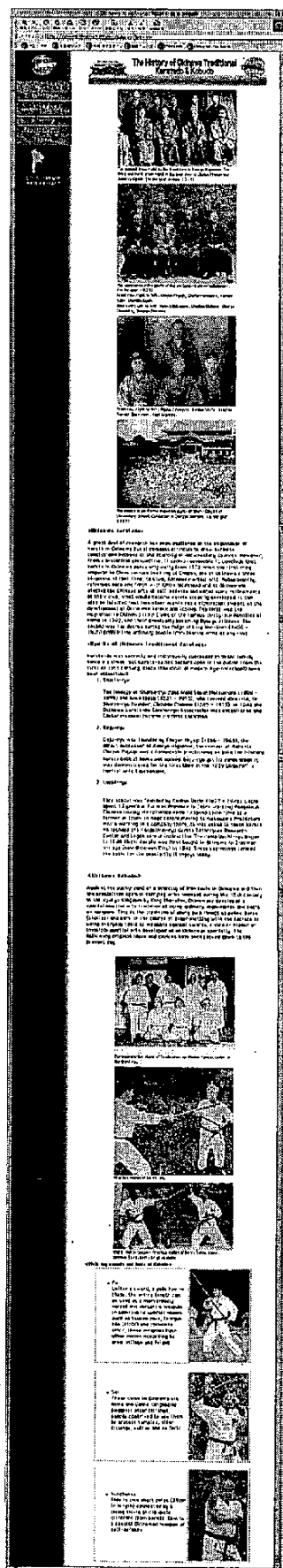
役員紹介

主要活動歴

将来構想

図 18 連合会について (英語版)





英語版

● 沖縄空手道古武道の歩み

沖縄伝統空手道の先人たち

沖縄空手道

沖縄伝統空手の流派

沖縄古武道

古武道の主な道具

図 19 沖縄伝統空手・古武道の歩み（英語版）



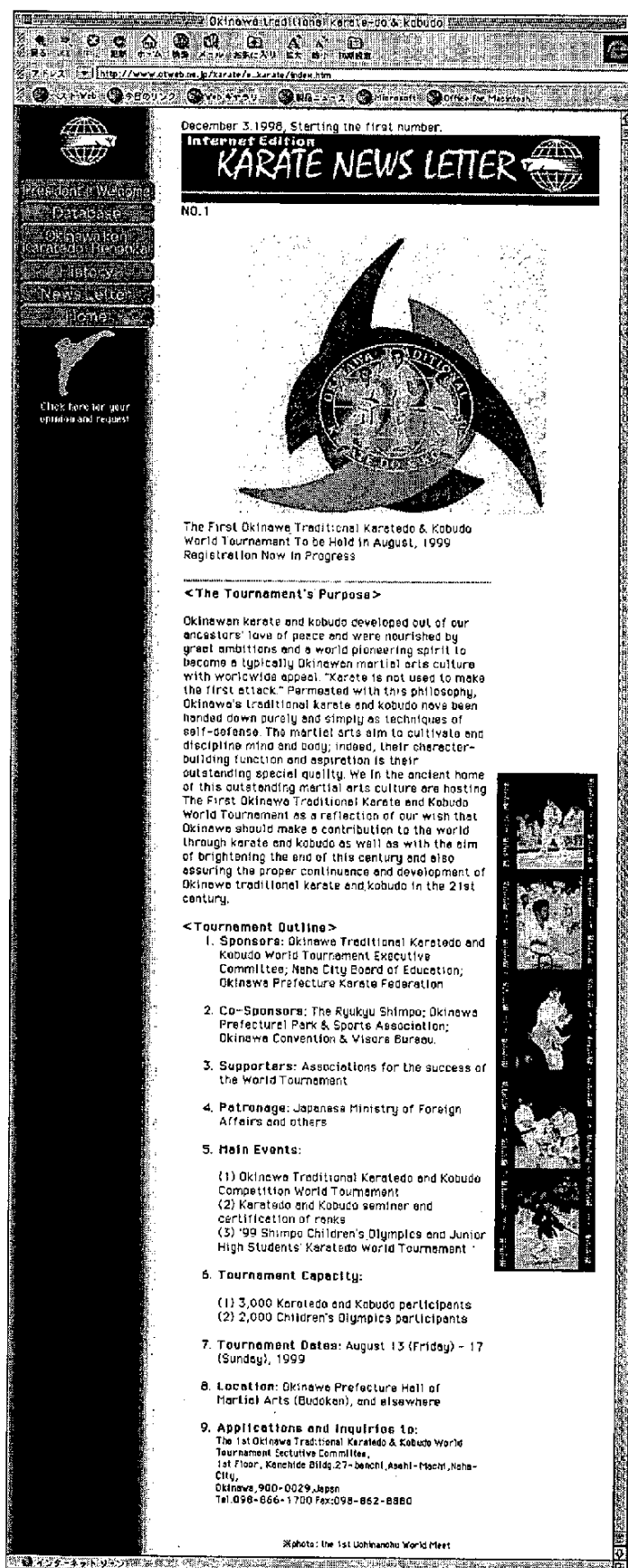


図 20 インターネット空手新聞 (英語版)

英語版

● インターネット版 空手新聞

第一回は

「第1回沖縄伝統空手道古武道世界大会」を紹介。

※2ヶ月毎に更新



2.8 DMによる登録票の送付

世界各国から入力するデータを収集する作業を、事前調査で収集した情報と、新たに調査し入手した情報をもとに、ダイレクトメールを送付し、必要データを記入のうえ、返信して頂くという方法で行った。

これにより、必要なデータを得る事ができたが、さらに充実させなければならないと感じている。

世界的な規模で情報を収集するためには、世界にネットワークを有するマスコミ等の協力を得るべきである。

登録票は、会派用、道場用、個人用と区別して送付し、データの整理、入力（登録）作業がスムーズに行われた。

海外用として、英文を用いて同様のものを作成し、送付した。

◆ダイレクトメール

（１）実施内容

①名簿の収集

- a. 名簿借り入れ先 沖縄県空手道連合会、琉球新報社、連合会会員

②送付名簿台帳作成

- a. Microsoft Access により送付台帳を作成。約 1000 件入力。

③登録項目の決定

- a. 公開、非公開項目の決定
- b. 登録様式の決定（図 23、24、25）

④送付作業

- a. ラベル出し
- b. 封入作業
 - ・登録票（日本語版、英語版）の印刷
- c. 国内外へ送付

⑤期間

- a. 平成10年9月～平成10年11月 3ヶ月間を予定

（２）経過報告

①計画通り作業は順調に推移。

②登録申込みがあったもの

42 ページの表 2「データ入力作業経過報告」をご覧ください。

③テレマーケティングに関連して、ダイレクトメールの資料を再送付するケースも多い。現在45件の再送付。



平成10年9月22日

各 位

海外道場の名簿提出について（ご協力のお願い）

現在進めております「データベース構築事業」につきまして、海外の関係会派・道場のリスト作成を進めております。

そこで、貴台にご関係の海外道場に、別添の文書を当方から発送致したく、海外道場の代表者、住所、電話番号等、「名簿」をお知らせいただきたくお願い申し上げます。

また、別途に方法があれば、ご教示いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

以上、ご多忙の折り、まことに恐縮ではございますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、お問い合わせについては、事務を担当しております下記のものまでお願いいたします。

記

事務担当者：那覇市赤嶺2-11-15

(株)アイエムアイコーポレーション

須藤将史（すどう・まさし）

電話：098-859-1149 FAX：098-859-0186



**沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース
登録について**

「沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース」につきましては、下記の各条項をご理解のうえ、登録して下さるようお願いいたします。

<目的>

(1) このデータベースの構築の目的は次の通りです。

- ①道場数、生徒数等、世界の空手界の現状の統計をとり、さらなる発展の基礎データとします。
- ②沖縄から世界また世界から沖縄への通信網を確立します。

<監修>

(2) 登録と公開の判断は、「沖縄県空手道連合会」内に設置されております「公開基準策定委員会」が行います。

<公開>

- (3) 登録票の項目には、公開項目と非公開項目があり、公開項目はインターネット等のマスメディア通じて公開されます。
- (4) 未成年者に関しては基本的には公開いたしません。
なお、本人の希望と保護者の承認があれば公開いたします。

<使用权と著作権>

- (5) 名簿、写真、文章、図画等、公開内容から派生する諸権利は全て連合会に所属し、無断での使用が禁止されております。
- (6) 上記の写真、文章、図画等の使用を希望される方は、連合会事務局までご連絡ください。

<連合会への加盟>

- (7) 連合会への加盟をご希望の方は、連合会事務局までご連絡ください。

図 22 登録の際の案内文



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (流派・会派用)

<会派・流派情報>

よみが な		よみがな	
流・会派		代表者名	
よみが な		生年月日：	性別：
段・資格		職業：	
よみが な			
住 所			
電話		E-mail	
FAX		WWW	

<本部所在地の略図>

--

<メッセージ欄>世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 23 登録票 (流派・会派用)



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (道場主用)

<道場主情報>

よみがな		よみがな	
道場名		流・会派	
よみがな		よみがな	
代 表 者 名		段・資格	
よみがな			生年月日： 性別：
住 所			職業
電話		E-mail	
FAX		WWW	

<本部所在地の略図>

<メッセージ欄>世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 24 登録票 (道場主用)



沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース

登 録 票 (個人用)

<個人情報>

よみがな		よみがな	
氏 名		流・会派	
よみがな		よみがな	
道場名		段・資格	
よみがな			生年月日： 性別：
住 所			職業：
			職業：
電話		E-mail	
FAX		WWW	

<道場の所在地>

<メッセージ欄>世界の皆様に伝えたいことを何なりとお書きください。

図 25 登録票 (個人用)



September 30, 1998

Call for Registration in the Okinawa Traditional Karate & Kobudo
International Human Resource Database

Dear Colleagues:

I hope this letter finds you all in the best of health and spirits.

It is my great privilege to send greetings from Okinawa, the ancient birthplace of karate, to all those who have so enthusiastically supported and promoted the art of karate.

Okinawa was literally reduced to ashes in the last war and a great many lives were lost. In the half century since the war, through the efforts of our forebears and with the help of many people, Okinawa has experienced an almost undreamed of recovery and development. Unfortunately however, much of the world is still sadly beset by seemingly endless military actions.

We of the Okinawa Karate-Do Federation earnestly wish to use karate as a way to teach the world of the preciousness of life and peace. Accordingly we are launching two new projects.

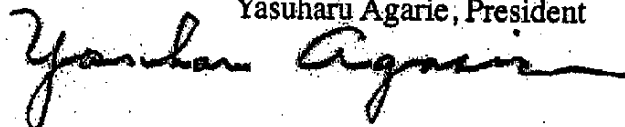
These are, first, to hold the First Okinawa Traditional Karate-Do & Kobudo Meet, and secondly, to construct an Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database.

Our idea is to create a network based on the common interest in and practice of karate around the world and through this to promote the spread of mutual understanding and support. In this way perhaps we can contribute to turning the world in a more hopeful and positive direction.

Our feeling is that, through knowing the history of Okinawa and the nature of karate, people around the world will come to understand and support this objective.

So please help move the world a step closer to realizing its dream of peace and understanding by registering in the Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database.

Okinawa Karate-Do Federation
Yasuharu Agarie, President



P.S. This letter is being sent by reference of the Okinawa Shorinryu Karate-Do Kyudo-kan Federation. Should you have any question, please contact the address below.
IMI Corporation on the page 5.



Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database

About Registration

We solicit your cooperation in registering in the Okinawa Karate & Kobudo International Human Resource Database in accordance with the following provisions:

<Objectives>

- (1) The purposes of this database are as follows:
 1. To establish data and basic information on the present status of karate around the world, including information on the number of dojos and pupils.
 2. To create a network of communication back and forth between Okinawa and the world.

<Supervision>

- (2) Decisions about compilation and release of information will be made by the Publication Guidelines Committee, set up within the Okinawa Karate-Do Federation.

<Publication>

- (3) The registration forms contain both public and private items. Public information will be released via the Internet and other media.
- (4) In principle, information on young people will not be made public. However if the person so desires and with permission of parent or guardian, information can be released.

<Right of Use and/or Publication>

- (5) All rights to copy or reproduce rosters, photographs, writings, drawings or other public information are reserved by the Federation. Unauthorized use is strictly prohibited.
- (6) Persons wishing to use the above-mentioned photographs, drawings, etc., should contact the Federation's office.

<Joining the Federation>

- (7) Those wishing to join the Federation, should contact the Federation office.



About the Okinawa Karate-Do Federation

<Objectives>

The Okinawa Karate-Do Federation works to promote and develop Okinawan karate and kobudo. With the global perspective stemming from Okinawa's history as the birthplace of karate, the Federation endeavors to spread karate and to make Okinawa the mecca of karate. The Federation also promotes mutual friendship among its members.

<Major Activities>

In order to advance its objectives, the Okinawa Karate-Do Federation carries out the following activities:

- Carries on research and training in karate and kobudo in order to preserve and pass on these arts.
- Works to have karate and kobudo included in the school curriculum.
- Keeps in touch with groups interested in karate outside the prefecture and promotes international exchanges.
- Hosts the Okinawa Martial Arts Festival and supports the meets of other karate organizations.
- Holds the World Karate Meet and other karate and kobudo events.
- Develops proposals for obtaining increased awareness of and support for karate.

<Officers>

The executive officers of the Okinawa Karate-Do Federation as of 1998 are:

Executive Advisor

Meitoku Yagi Adviser of Okinawa Karatedo Goju Association

President

Yasuharu Agarie Special Advisor of Okinawa Management Association

Chairman

Seikichi Higa President of Okinawa Goju-ryu Karate Kobudo Federation

Other senior officers include 6 vice chairmen, 1 managing director, 9 standing directors, 15 directors and 2 auditors.

<Major Accomplishments>

- (1) Obtained the status of cultural legacy for karate and kobudo, to assure their preservation and development.

* As a fruit of this activity, the following persons were designated in 1997 as Prefectural Intangible Cultural Assets:

Shoshin Nagamine President, of International Matsubayashi-ryu Karatedo Association
(died, 1997)

Meitoku Yagi Honorary President of Okinawa Karatedo Goju Association

Seiki Itokazu Executive Advisor of Okinawa Konan-ryu Karatedo Association



- (2) Established a system of degrees and ranks.
- (3) Held the Okinawa Karate and Kobudo World Exchange Festival (in conjunction with the 1990 World Uchinanchu Gathering in Okinawa).

<Future Plans>

The registration of a large number of persons and groups in the international database will help strengthen the foundations of karate and contribute to its worldwide development through anticipated plans and projects like the following:

- (1) Building of a World Karate Village
- (2) Establishment of an Okinawa Traditional Karate and Kobudo University.
- (3) Creation of a worldwide karate and kobudo directory.
- (4) Accomplishment of the worldwide spread of Okinawan traditional karate and kobudo.
- (5) Holding an Okinawa traditional karate and kobudo "youth genki juku," karate school for youngsters.



Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database
Information for Groups and Companies

- ◇ This project is under the auspices of the following organization:

Okinawa Karate-Do Federation

Office address: First floor Kanehide Hdqtrs Bldg., 27 Asahi-cho, Naha, Okinawa, Japan

Phone: 098-866-1700

FAX: 098-859-0816

Representative: Yasuharu Agarie Special Advisor of Okinawa Management Association

Person in Charge: Ken Hamakawa Okinawa Karate-Do Federation Managing Director

- ◇ Database registration work is being done by the following:

IMI Corporation

Address: 2 - 11 - 15 Akamine, Naha, Okinawa, Japan

Phone: 098-859-1149

FAX: 098-859-0816

E-mail: imi-plan@cosmos.ne.jp

Home page:

Representative: Naoshi Oshiro

Person in Charge: Masashi Sudo

- ◇ This project is contracted to Database Development Center, with the support of The Ministry of International Trade and Industry (MITI).



Okinawa Traditional Karate & Kobudo International Human Resource Database

Registration Form

(For Dojo Owner's Use)

<Dojo Owner's Information>

Dojo Name: _____

Ryuha/Kaiha: _____

Representative's Name: _____

Dan/Rank: _____

Address: _____

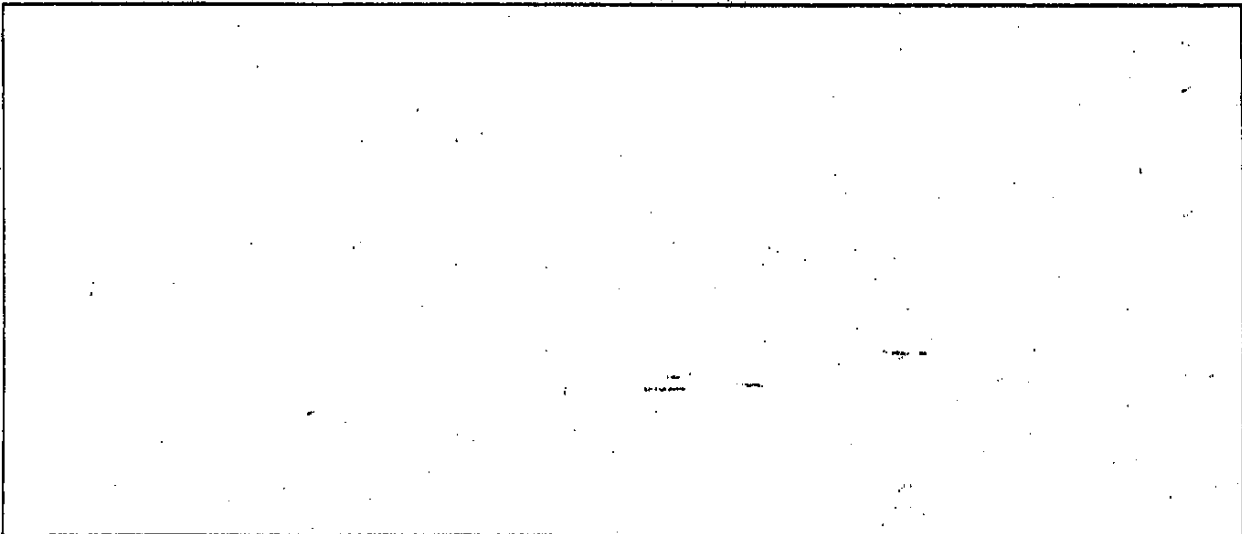
Phone: _____

Birthdate: _____

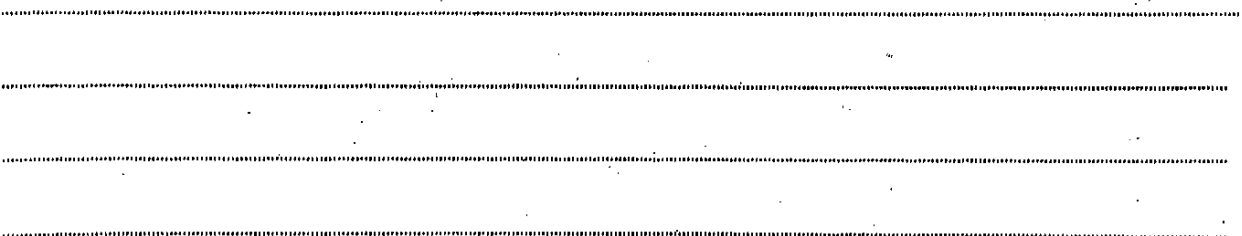
Occupation: _____

M/F: _____

<Headquarters Location Map>



<Message Space> Please write your message or greeting to the world.





<Affiliated Pupils>

No		
	Dojo Name: Representative's Name:	Dan: Address: Phone: Number of pupils: Occupation: Birthdate: M/F
	Dojo Name: Representative's Name:	Dan: Address: Phone: Number of pupils: Occupation: Birthdate: M/F
	Dojo Name: Representative's Name:	Dan: Address: Phone: Number of pupils: Occupation: Birthdate: M/F
	Dojo Name: Representative's Name:	Dan: Address: Phone: Number of pupils: Occupation: Birthdate: M/F
	Dojo Name: Representative's Name:	Dan: Address: Phone: Number of pupils: Occupation: Birthdate: M/F

*Please do not complete items you do not want to be made public.



2.9 データベーステンプレート作成

テンプレート作成にあたり担当者間で事前調整を行ない、個人テーブル、流派テーブル、会派テーブル、道場テーブル、段位テーブル、国籍テーブルにその他に分け、次いでそのデータによって作られる検索ホームページ、登録ホームページを構成した。データベースホームページの構成図は図 15-26～図 15-28 に記した。

◆データベースのテーブル構成

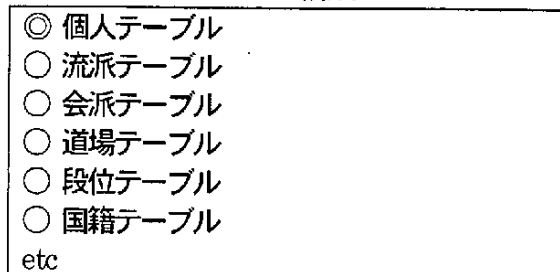


図 26

※細かく分類できる項目については再度検討し分類した。

◆データベースの検索ホームページ構成

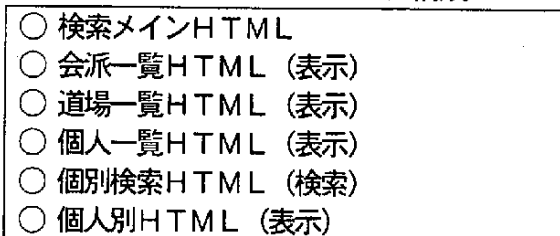


図 27

※ファイルの関連については【検索画面フロー図】を参照

◆データベースの登録ホームページ構成

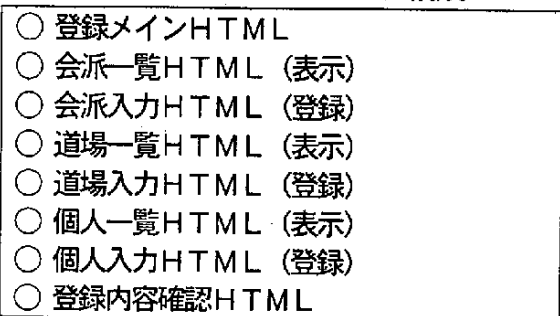


図 28

※ファイルの関連については【検索画面フロー図】を参照



2.10 データ入力

ダイレクトメールの返信および、E-mail、インターネット上のホームページ CGI、その他取材等で得た情報を、データベースとして構築するための入力作業を行った。

入力については空手マンマスター、道場マスターの2つのデータベースを ACCESS で作成し、行った。手順は図 29 の通りである。

【画面展開フロー図】

下記図 29 のフロー図は、登録および検索の手順をフロー図で表したものである。流派、会派、道場の順にデータを絞り込み、目的のデータを登録および検索する。ただし、登録に関しては目的の会派（登録しようとする会派）が存在しないときは、会派、道場を登録した後に個人データを登録した。

◆登録画面フロー図

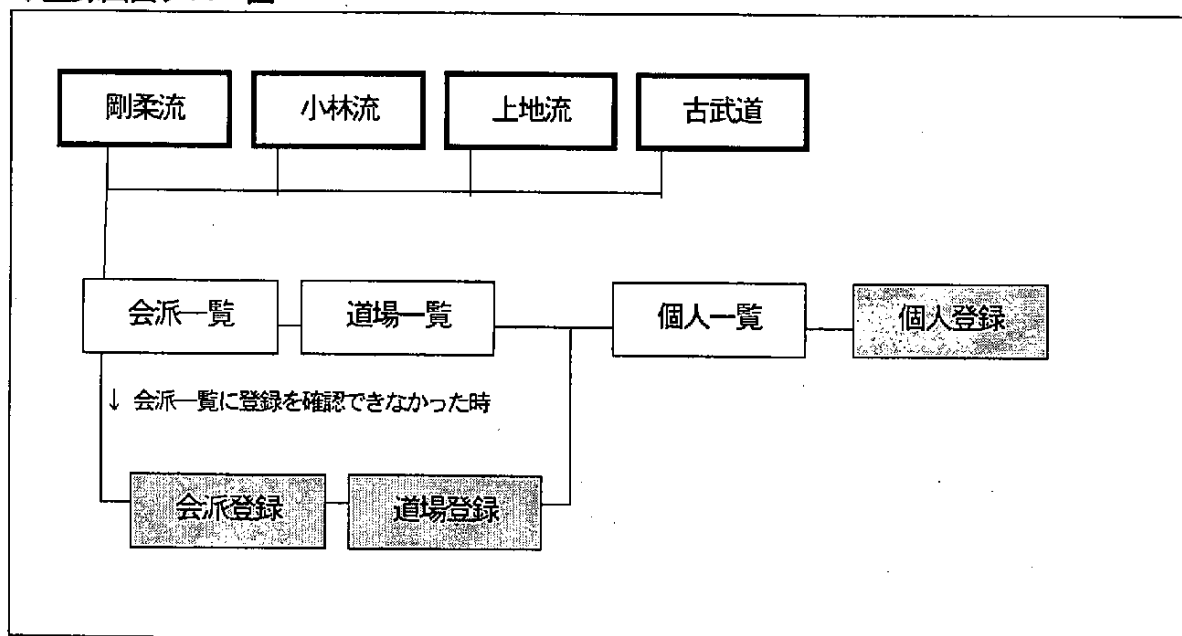


図 29

制作の上で代表されるプログラム (HTML) の簡単な説明を図 30 に記した。



◆登録HTML

プログラム名	会派入力HTML (登録)	ファイル名	.html
処理概要 まだ登録されていない会派データを登録するためのHTML。この画面で会派を登録すると、次に道場を登録する画面へと移行する。			
プログラム名	登録内容確認HTML	ファイル名	.html
処理概要 登録した個人データが正しく入力されたかを確認するためのHTML。ここで確認されたデータは、マスターデータベースに登録される。			

図 30

◆データ入力作業経過報告

- 1) 登録申込み書数 702 件
- 2) 国別登録申込書内訳

表 2

日本 (沖縄)	567 (438)
アメリカ	58
アルゼンチン	48
イタリア	8
カナダ	3
チリ	3
インド	3
イスラエル	2
ペルー	2
エクアドル	2
スペイン	2
デンマーク	1
ベネズエラ	1
ノルウェー	1
南アフリカ	1

- 3) 登録申込み形態



メール	25件
FAX	350件
その他	327件

4) その他

- a. 流派・会派が複雑で紛らわしいため入力に注意が必要である。
- b. 今まで事務局に届いた登録申込書の数はまだまだ少ないので、引き続きテレマーケティングでの勧誘に力を注ぐ必要性を痛感する。
- c. インターネットへホームページを開設し、世界への門戸としての意義は深いものがあることを、各国からのメール等、そして寄せられたメッセージが今後の沖縄伝統空手・古武道リソースデータベースの拡がりと重要性が大いに期待できるものを実感した。

2.11 インターネットサーバ構築・データベース連動システム構築

空手データベースを広く一般に公開する為に、WindowsNT によるインターネットサーバを構築する。また、データベースだけでなく空手コンテンツのホームページを開設し、全世界に沖縄空手を広く理解してもらう。

(1) 仕様書

①考え方

- a. 全ページの共通仕様としてフレームを使用し各画面にて共通のメニューボタンが選択できるようにする。
- b. 全体的に沖縄伝統の空手・古武道の歴史が感じられるような画面構成を求める。
- c. リソースデータベースの公開項目が存分に検索でき、世界へ広がる沖縄空手の全貌が分かるような内容を今後とも考慮していきたい。

②掲載項目及びページネーション

- a. トップページ
 - ・タイトルロゴ
 - ・メニューボタン
 - ・空手演舞写真
 - ・イメージグラフィックス
 - ・監修団体
 - ・運営企業
 - ・英語ページへのリンクボタン
- b. 沖縄県空手道連合会会長あいさつ
 - ・タイトルロゴ
 - ・会長写真1点
 - ・あいさつ文
 - ・登録申込みボタン
 - ・フッタ
- c. データベース申込書
 - ・データベース
 - 目的、監修、公開、使用权と著作権、連合会への加盟、登録料
 - ・申込みフォーム
 - ・公開項目：登録希望者名、よみがな、道場名、よみがな、代表者名、よみがな、段・資格、流派・会派名、E-mail、URL、住所、郵便番号
 - ・非公開項目：電話、ファックス、職業、生年月日、性別、国籍、メッセージ欄
- d. 空手道古武道のあゆみ
 - ・タイトルロゴ



- ・沖縄伝統空手道の先人たち 解説テキスト及び写真4枚
- ・沖縄伝統空手の流派 解説テキスト
- ・沖縄古武道 解説テキスト及び写真2枚
- ・古武道の主な道具 解説テキスト及び写真4枚

e. 空手新聞「第1回沖縄空手道古武道世界大会」開催について

- ・タイトルロゴ
- ・PRグラフィックス
- ・イメージ写真
- ・開催趣旨 テキスト
- ・開催要綱 テキスト

③主な機能

- a. フォーム機能 (リソースデータベース登録画面)

④画面一覧及び詳細 (別紙)

⑤ウェブサーバについて

- a. サーバの設置場所
(株) アイエムアイコーポレーション内

⑥素材使用権等について

- a. 素材借用書籍
 - ・沖縄伝統古武道 その歴史と魂 仲本政博著 文武館
 - ・空手道・古武道基本調査報告書 沖縄県教育委員会
 - ・空手道・古武道基本調査報告書2 沖縄県教育委員会
 - ・沖縄空手・古武道グラフ 沖縄県教育委員会
- b. 上記書籍からの写真、テキスト等の借用については全て承認済み。

⑦ホームページ開設時期

- a. 平成10年12月末日

(4) 実施経過報告

- ① 平成10年7月 沖縄県空手道連合会事務局にて作業担当者を選定。
- 平成10年8月 作業を依頼。
掲載項目等を協議。
- 平成10年8月 沖縄県空手道連合会よりページ内容提案を受ける。
- 平成10年9月 沖縄県空手道連合会事務局及び(株)アイエムアイコーポレーションとの間で内容案について協議。内容案について修正の上、依頼し制作を依頼。
- 平成10年10月 初校 修正
- 平成10年11月 2校 校正終了
- 平成10年12月 ウェブサーバにデータアップし、インターネットへ公開。
同時に検索エンジンに登録。

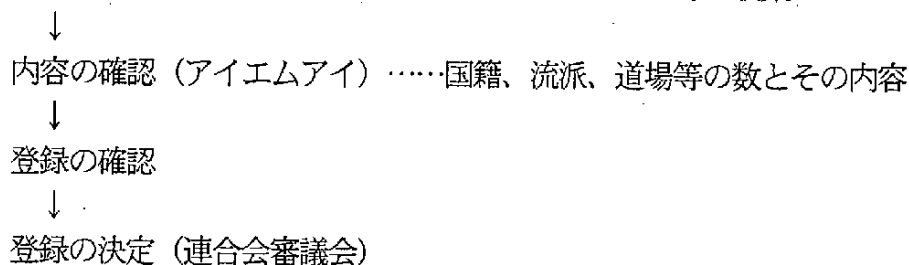
③その他

- a. ウェブ上でリソースデータベースへの登録申込みは現在できるが、公開データベース検索システムがまだ不備の状態である。3月上旬完成する予定で制作を進めている。

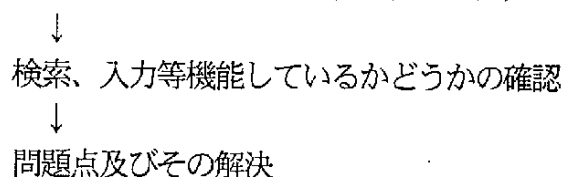
2.12 試験運用

試験運用までの作業の流れについては下記のように行われた。

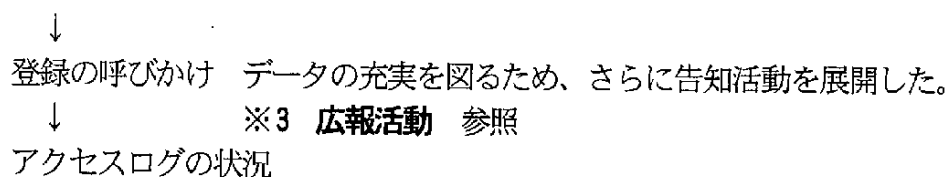
- (1) 国内外の道場から返送されたDM、メール、FAX等の収集



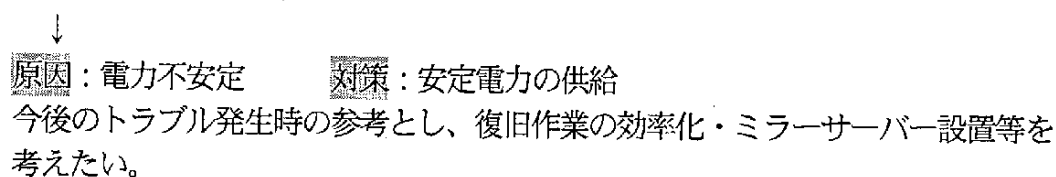
- (2) データの入力 (マスターデータベース)



- (3) ウェブの開設



- (4) ウェブサーバーのダウン



- (5) 試験運用期間とその注意点

【試験運用期間】

◆実施期間 1998年12月初旬～1999年2月中旬

◆運用における注意点

認証作業でデータベースへのアクセスを制限し、システムの保守を第一に考える。
認証は、サーバー (WindowsNT) のユーザー認証の機能を使用する。



2.13 公開開始

平成10年12月に試験運転開始、平成11年3月に下記要領で公開を開始した。
現在も引き続き登録が行われている。

【画面レイアウト】

沖縄県空手データベース検索メイン画面	
剛柔流	現在、〇〇名の登録が確認されています。
小林流	現在、〇〇名の登録が確認されています。
上地流	現在、〇〇名の登録が確認されています。
古武道	現在、〇〇名の登録が確認されています。
個別検索	
画面1 : 検索メイン画面	

図 31

個別検索画面			
氏名		性別	
		年齢	
流派別		国籍別	
会派別		地域別	
道場別		段別	
検索			
画面2 : 個別検索画面			

図 32

制作の上で代表されるプログラム（HTML）の簡単な説明を図 33 に記した。

◆検索画面フロー図

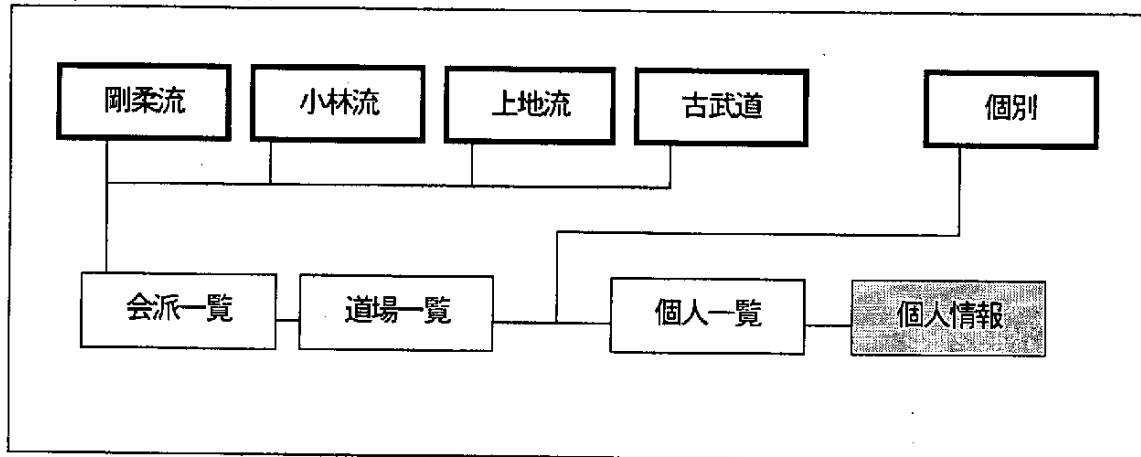


図 33

(2) 公開日の遅れ

公開直前になって、仕様設計の段階で予測できなかった母国語登録（日本）と他国語登録の不具合や、今後のデータ登録状況より、件数増加、データの矛盾、重複による肥大化等の問題に対応せざるをえなくなった。

問題解決の方策として、データベースのテーブル正規化の再構築を行なうこととなった。

1. 変更理由

1) データベースの肥大化に対応するテーブル正規化

今後のデータ登録状況より、件数増加、データの矛盾、重複による肥大化に対応する為。

2) 母国語登録（日本）と他国語登録の不具合に対応するテーブル変更

空手流会派等の登録方法で日本語表記と外国語表記が混在する中、データの整合性を維持するため。

2. 変更項目

上記の理由によりデータベース仕様及びWebとの連携を再構築。3月18日までに終了予定で作業を進めている。

1) データベースの肥大化に対応するテーブル正規化について

現在のデータ登録状況から予測される件数増加およびデータの矛盾、重複に対応するため、再度、テーブルを正規化する。また、「逆正規化」についても検討する。

2) データベースの肥大化に対応するテーブル正規化について

現在のデータ登録状況から予測される他国語登録に必要なテーブルを再構築する。



【マスターデータベース】

◆マスターデータベースの機能の確認について

検索機能は、基本的動作は問題なく動作している。しかし、初期段階ではデータの登録数がさらに必要なため、告知、登録の呼びかけを行いデータを充実させる必要がある。

検索方法は、“絞り込み検索”で行うことを考えている。“絞り込み検索”とは、「流派→会派→道場→個人」と順を追って個人データを検索することをいう。

【Web の開設】

◆データの充実

告知、登録の呼びかけなどを行い、データの充実をはかる。また、早期に Web でのデータ入力を可能にし、登録作業を個々人で手軽に行えることが、さらなるデータの充実につながるものとする。

3 広報活動

3.1 記者発表

沖縄県や国内外の空手・古武道関係者に利用を呼びかけ、情報等を募るほか、一般へ対して沖縄伝統空手・古武道、また沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース構築事業についての理解、協力を求めることを目的として行った。

記者発表要領

(1) 記者発表件名：沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース構築事業

(2) 開催日時：平成10年12月 3日（木）15：00～15：30

(3) 開催場所：那覇市（4階） 市長応接室（4階）

(4) 主催：沖縄県空手道連合会

(5) 出席者：

①沖縄県空手道連合会	会 長	東江 康治	名桜大学学長
②沖縄県空手道連合会	理 事 長	比嘉 世吉	
③沖縄県空手道連合会	専務理事	濱川 謙	
④(株)IMIコーポレーション	代 表	大城 直志	

特別出席：第1回沖縄伝統空手道古武道世界大会

実行委員会 会 長 親泊 康晴 那覇市長



(6) 発表内容

- ①主催者挨拶 連合会会長 東江 康治
- ②事業概要 (株)IMIコーポレーション 大城 直志
- ③世界大会とデータベース構築事業の意義 実行委員会 会長 親泊 康晴
- ④沖縄から世界へ、第1回沖縄県伝統空手道古武道世界大会への参加の呼びかけ
沖縄県空手道連合会 理事長 比嘉 世吉
- ⑤当該事業における沖縄県空手道連合会の役割
沖縄県空手道連合会 専務理事 濱川 謙
- ⑥沖縄県空手道連合会ホームページの紹介(デモンストレーション)
- ⑦質疑応答

(7) 配布資料

- ①当該事業概要書
- ②世界大会参加要領

記者発表の結果、地元2紙(琉球新報・沖縄タイムス紙)に掲載された。

平成10年12月4日 琉球新報

世界の空手家へ情報発信 人材をデータベース化

県空手道連合会

来年八月に開催される沖縄伝統空手道古武道世界大会に運動して、主催の県空手道連合会(東江康治会長)は、古武道発祥の地、沖縄からインターネットを通して海外に情報を発信するデータベースを構築した。空手道古武道の歩みや空手新開などの情報を瞬時に引き出せるほか、世界中の空手愛好者ら人材を登録し、世界大会の申し込みもメール活用で可能になった。同大会実行委員会の親泊康晴市長や東江会長らが三日、市役所で記者会見し、明らかにした。

「沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース構築事業」は、通商省の海外補助を活用。同連合会が主催で、県空手道連合会が協賛のデータベースを構築し、世界中の空手家へ情報発信するデータベースに集約する。既にホームページに日本語、英語版を立ち上げている。

会見で親泊市長は大会について「やむを得ず、空手発祥の地、沖縄の伝統空手、古武道が正統に継承されていらない。世界に沖縄の空手を知らしめる意義深い大会」と意義を強調。また東江会長は「氏名、道場のデータベースを構築すること、空手のメッカづくりが大きく前進する契機になることを願う」とも、「アクションが活発になり来賓のチャンスが高まることを期待したい」と抱負を述べた。

登録と公開の判断は連合会内の公開基準策定委員会が行う。公開項目のみメールアドレスを通じて公開される。ホームページアドレスは <http://www.owebone.jp/karate/index.htm>



世界中の空手家へ情報発信するデータベースに集約する。既にホームページに日本語、英語版を立ち上げている。

世界の中の空手家へ情報発信するデータベースに集約する。既にホームページに日本語、英語版を立ち上げている。



沖縄空手を世界にPR

沖縄発祥の空手や古武道に関する情報を世界へ発信しようと、県空手道連合会（東江康治会長）は三日、「沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース」をパソコンのインターネットに開設した。

来年八月に那覇市の県立武道館で開く「第一回沖縄伝統空手道古武道世界大会」（那覇市など主催）に合わせ、空手・古武道の普及発展を図るのが目的。

同大会の案内のほか、空手に関する施設や人材を紹介。また、沖縄伝統空手の歴史や

Iネット開設

県空手道連合会

術についても解説している。

東江会長は「空手発祥の地として、その存在を世界にPRするとともに相互交流を促進し、空手のメッカとしてさらに前進する契機になると期待している」と話している。

ホームページアドレスは
<http://www.okweb.ne.jp/karate/index.htm>

施設や人材はじめ歴史、技を紹介

15.3.2 県外広報活動

調査を進めていく中で、告知活動の重要性が認識できたことから、関東在住関係者に対する国内調査活動に合わせ、全国および国外空手・古武道関係者を対象にした告知活動を行った。主な訪問先は、日本経済新聞社・共同通信社・外国人記者クラブ・インターネット情報誌を扱う出版社等である。

（54 ページ 表3 参照）

尚、県外広報活動の結果、次の2紙（日本経済新聞、読売新聞）に掲載された。

（平成11年3月13日現在）



空手・古武道

世界へ発信

本場・沖縄



沖縄は現在でも空手が盛んだ



再稼働するため」の活動が始まった。

「奥妙な練心」――心を鍛えることが奥伝を得ることにつながる。沖縄空手道剛柔会顧問の八木明徳(八十歳)は、そう強調する。沖縄の伝統空手や古武道は様々な会派に分かれるが、それぞれ精神論を重視する。「型」が様式化され発達しているのも特徴だ。

中国や日本をはじめとするアジアの国々との交易で栄えた琉球王国は、平和を重んじ「武」を禁じたといわれ、素手で戦うのではなく、型をただけ習得しているのが、採点の基準になるといふ。

沖縄県空手道連合会のホームページのアドレスは <http://www.okweb.ne.jp/karate/index.htm>

勝負より型・精神論 8月に大会

こうした状況の中で、県内に約二百の道場があるとされ、現在も空手が盛んな沖縄で、伝統空手を文化遺産として見直し、継承発展を目指すという動きが数年

前から本格化した。二十一年は前回は流派が分立し、混乱状態だった(沖縄県空手道連合会)ことから九三年に同連合会が発足。種

目を重んじる本来の姿を月には、同連合会などの活

動が衰り、八木さんら三人の長老が初めて空手で沖縄県の無形文化財の指定を受けた。

また、昨年十二月にはインターネット上にホームページを開設。主に米軍兵によって世界中に伝播(でんぱ)したため広がりを見せ、空手道連合会が「沖縄空手道連合会」を設立し、空手道連合会が「沖縄空手道連合会」に引き継がれた。

空手道連合会は「沖縄の心を表現する精神的支柱としての空手、古武道を継承させ、沖縄を空手の『都』にしたい」と話している。今年八月には那覇市内で「第一回沖縄伝統空手道古武道世界大会」も予定されており、世界五十九国からの参加が見込まれている。大会といっても組み手で強さを競うのではなく、型をただけ習得しているのが、採点の基準になるといふ。

沖縄県空手道連合会のホームページのアドレスは <http://www.okweb.ne.jp/karate/index.htm>

「沖縄生まれの伝統空手や古武道を文化遺産として発信する」と、沖縄県空手道連合会が積極的な活動に乗り出した。空手道連合会が「沖縄空手道連合会」に引き継がれた。

本土や海外に伝わったのは「ほんの一部」(沖縄県空手道連合会)にすぎず、スポーツとしての面ばかりが強調されるようになり、中には勝敗重視の競技に終始しているものもあるという。

こうした状況の中で、県内に約二百の道場があるとされ、現在も空手が盛んな沖縄で、伝統空手を文化遺産として見直し、継承発展を目指すという動きが数年

前から本格化した。二十一年は前回は流派が分立し、混乱状態だった(沖縄県空手道連合会)ことから九三年に同連合会が発足。種

目を重んじる本来の姿を月には、同連合会などの活

動が衰り、八木さんら三人の長老が初めて空手で沖縄県の無形文化財の指定を受けた。

また、昨年十二月にはインターネット上にホームページを開設。主に米軍兵によって世界中に伝播(でんぱ)したため広がりを見せ、空手道連合会が「沖縄空手道連合会」を設立し、空手道連合会が「沖縄空手道連合会」に引き継がれた。

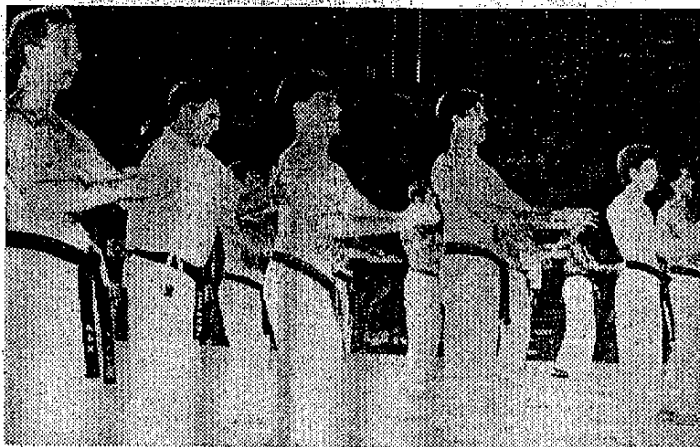
空手道連合会は「沖縄の心を表現する精神的支柱としての空手、古武道を継承させ、沖縄を空手の『都』にしたい」と話している。今年八月には那覇市内で「第一回沖縄伝統空手道古武道世界大会」も予定されており、世界五十九国からの参加が見込まれている。大会といっても組み手で強さを競うのではなく、型をただけ習得しているのが、採点の基準になるといふ。

沖縄県空手道連合会のホームページのアドレスは <http://www.okweb.ne.jp/karate/index.htm>



沖縄伝統空手をデータベース化

データベース作りが始まる沖縄伝統空手
と古武道（世界ウチナンチュ大会で）



で四千万人にのぼる空手修行者に関して、人材、道場、大会などを登録、相互理解と支援を目的としたもの。これらについて検索が可能なか、同連合会では沖縄と世界とを結ぶネットとして確立して、様々な活動のベースに利用したいとしている。

その一環として同連合会は今年八月十三日から第一回沖縄伝統空手道・古武道世界大会を開催。また、空手道を通じて命と平和の尊さを訴えるため、世界空手村の建設や沖縄伝統空手・古武道大学の設立、世界の空手・古武道名鑑の製作などの将来構想もある。

同連合会のホームページのアドレスは <http://www.otweb.ne.jp/karate/index.htm>

沖縄から世界に広がったりに乗り出へこのほど登録を開始した。

伝統的な空手・古武道の現状を把握、新たなネットワーク構築のため、「沖縄県空手道連合会」（東江康治会長）はインターネットを利用して沖縄伝統空手・古武道の人材データベース作



広報活動記録

期 間 平成 11 年 1 月 25 日～27 日

目 的 沖縄伝統空手・古武道国際人材リソースデータベース構築事業
及び第 1 回沖縄伝統空手道古武道世界大会の広報活動

表 3

	訪 問 先	面 会 者	訪 問 内 容
1 月 2 6 日			
1	琉球新報社 東京支社	大城支社長	訪問先相談・紹介依頼 日経・読売・共同通信・スポニチを紹介していただいた。
2	日経ネットナビ	小笠原記者	訪問趣旨説明。資料提供。協力依頼。
3	日経BP社 インターネットアスキー	なかじま氏 (女性)	編集部全員外出のため、若干の説明と資料提供のみ
4	インプレス社 インターネットマガジン	佐藤和人氏	趣旨説明、資料 担当者 青木氏 担当に後日連絡し、協力依頼することになった。
5	日本外国特派員 協会	細野 寛部長	趣旨説明・各国記者に資料配布したい。 持参資料はページ数が多く、日本文が 前面に出ているため、効果が低いとのこと。改めて 英文で、1 枚ペーパーを作成し、送付した。
6	沖縄コンベンション ビューロー	饒平名所長	活動趣旨説明・資料提供・協力依頼をした。
7	紺碧会・東京		大城支社長に県人会会長をはじめ大勢の方を紹介 していただき、広報活動を展開した。 洲鎌県商工労働部次長も出席しておられた。
1 月 2 7 日			
8	読売新聞社	女性スタッフ	大城支局長紹介の八部（やべ）次長夜勤明けのため 不在。女性スタッフに資料を預け、説明した。社内 で検討していただいた。
9	共同通信社	新村(ニムウ)次 長	大城支局長紹介の那須部長急用のため新村次長に 会う。
10	日本経済新聞社	横須賀部長 鹿嶋文化部長 竹田勉編集長	大城支局長紹介横須賀部長から、鹿嶋部長・秋吉部 長を紹介される。 どの部署で扱うかでもめたが、社内で検討し、詳し いものに取材させるとのこと。取材の際協力する旨 を案内。
11	スポーツニッポン	木脇洋専門委 員	大城支局長紹介。担当記者が取材のため同席でき ず。木脇委員のほうで担当に資料を渡し、社内検討 していただいた。
結 果		※日本経済新聞社他数社から取材の申し込みがあった。	



—— 禁無断転載 ——

平成 11 年 3 月発行

発 行 財団法人 データベース振興センター

東京都港区新橋二丁目 13 番 8 号

新橋東和ビル 5 階

TEL 03-3508-2430

委託先 (株)アイエムアイコーポレーション

沖縄県那覇市赤嶺 2 丁目 11-15

TEL 098-859-1149

